

いやしを創造する地域密着型休憩スペース

沐香造

MOKUKOUZOU



concept

鯨ヶ丘、くじら屋について

鯨ヶ丘商店街は、昔からある建物、店舗が数多く並ぶため、初めて来られる方でも懐かしさを感じられる街並みです。
自分の足で散策することでよりその空間と時間を味わうことができます。
くじら屋は、地元住民のご高齢の方やご家族で訪れる方達でも気軽に立ち寄れる場所です。

もっと観光客と地域住民が交流できる憩いの場となるくじら屋を目指します。

KUJIRAYAKI × ASIYU
くじら焼き × 足湯



外観 facade

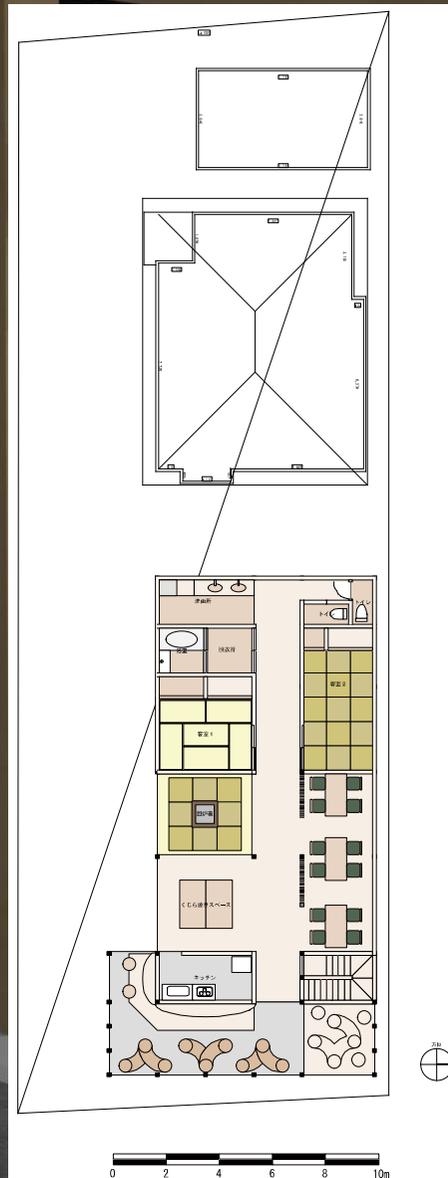


鯨ヶ丘ということや、足湯の要素により建築は、「和」としました。

鯨ヶ丘の雰囲気に合わせて、現存する周りの建物に馴染むよう計画しました。

1階平面図

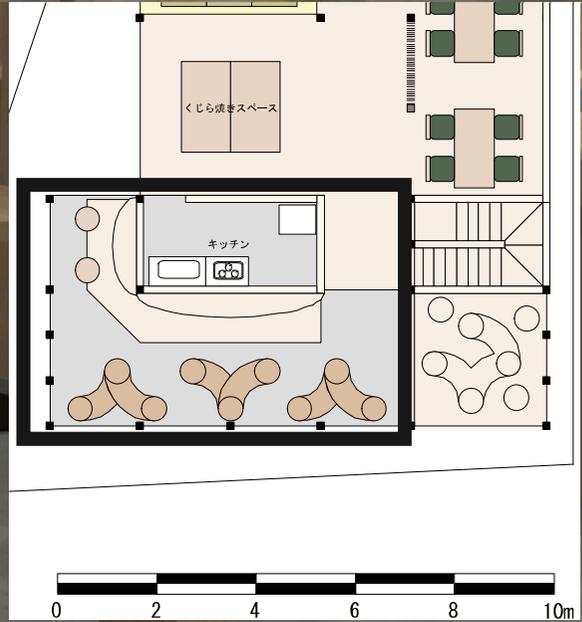
こちらが配置兼1階平面図です。



1階平面図 floor plan

正面に屋台方式でくじら焼きを食べることができる空間があります。

気軽に立ち寄り、くじら焼きを食べに来ることができます。



1階平面図

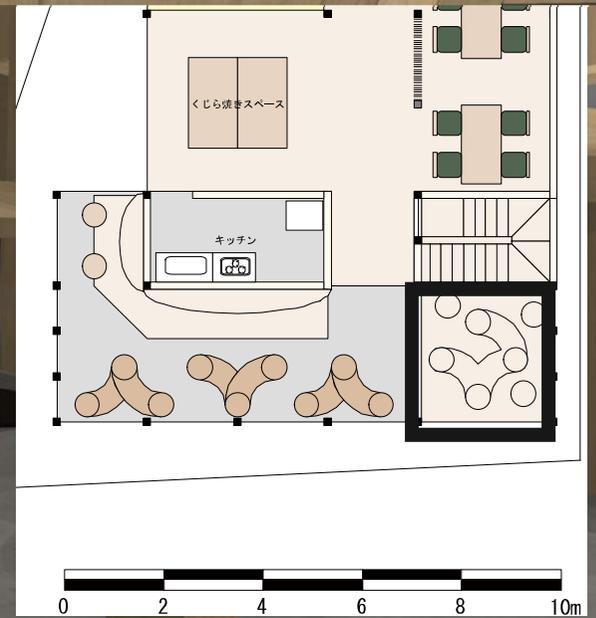
裏には、くじら焼きを自分で作るコーナーがあります。

自分だけのくじら焼きを食べることで、楽しさと美味しさを味わうことができます。



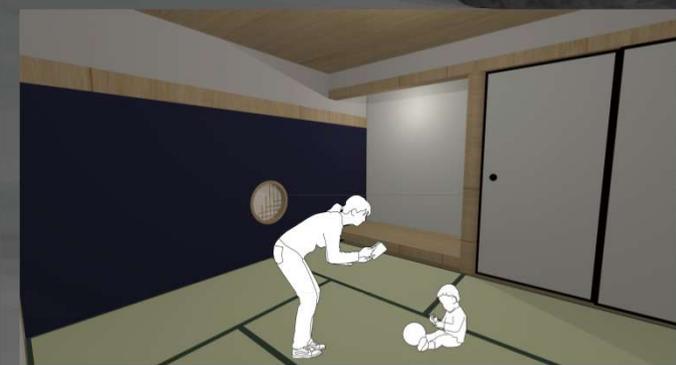
1階平面図

次にこちらが足湯スペースです。
鯨ヶ丘の名前から、鯨の潮吹きをオマージュしたデザインです。
衛生面を考え、小分けの部分を作ることで、利用するたび、お湯を入れ替えることができます。



1階平面図

そして沐香造の1階、2階では宿泊が可能になっています。1階部分は宴会スペースと宿泊スペースがあり、それらを貸切することもできます。臨時拠点のような形で利用でき、鯨ヶ丘を散策して泊ったり、団体に宴会をしてそのまま1泊して翌日に帰るなど様々な用途があります。



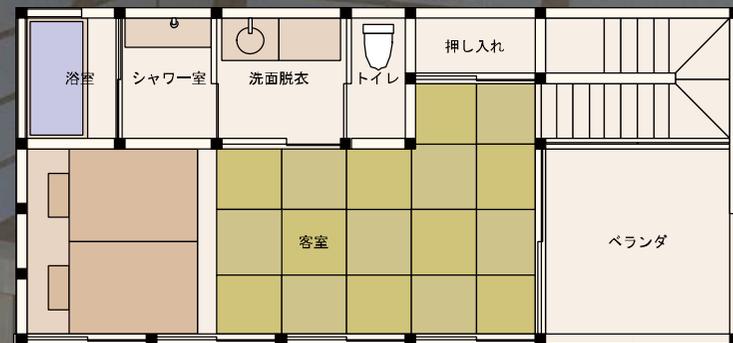
f2階平面図 plan



1階に対し、癒しを堪能しくつろげる2階と
なっています。
2階全体が1室の客室になっています。

正面側には全面的に腰窓を設け、開放感を持
たせました。

シャワー室の先にヒノキ露天の風呂を設けま
す。
景色を堪能しながら、鯨ヶ丘を散策して疲れ
た体を癒すことができます。



interior

家具

「軸組交棒」

ヒノキの合板とパイプで形成される、テーブルとイスが複合した家具です。

鯨ヶ丘の名前から、鯨の潮吹きをイメージしたデザインにしました。

合板の部分が可動式になっており、利用者が好きな形に変形させることができ、利用者によって様々な使い方ができます。



まとめ conclusion

沐香造と軸組交棒によってもっと観光客と地域住民の
交流の架け橋となる鯨ヶ丘商店街になってほしい。



まとめ conclusion

鯨ヶ丘を足元から人々と繋げる

